

【授業の到達目標および概要】

授業の到達目標：代表的な血液疾患（貧血、白血病、悪性リンパ腫、癌骨髄浸潤、化学療法後および骨髄移植後あるいは臍帯血移植後など）の病歴・治療歴・検査データなどを見て、疾患について理解を深める。またこれら血液疾患の末梢血像および骨髄像を顕微鏡観察し、特徴的な所見を説明できるようになること。学生から希望があれば、大学病院中央検査部で行われている検査業務を体験学習することも出来る。

【授業計画】

- ①② 貧血について説明できる。
- ③④ 急性および慢性白血病について説明できる。
- ⑤⑥ 悪性リンパ腫について説明できる。
- ⑦⑧ 癌の骨髄浸潤について説明できる。
- ⑨⑩ 化学療法後の検査値の変動について説明できる。
- ⑪⑫ 骨髄移植と臍帯血移植の手技、移植後の合併症について説明できる。
- ⑬～⑮ まとめ

【授業外学習】

授業中に用いるプリントを復習し、授業中の理解が十分であったか否か自己点検を行う。

【成績評価の方法・基準】

出席状況および授業中に行う簡単な口頭試問で理解度をチェックする。

【教科書】

随時プリントを配布する。